

看護コミュニケーション	1年・前期	1単位 30時間	教授 伊藤美鈴
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110491

1. 授業のねらい・概要

コミュニケーションの知識，技法を学び，日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付けるとともに，自己理解を深め，看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤が理解できるようになることを目的とする。

学生は，講義内容をもとに演習を通して，体験しながら理解を深める。

2. 学修の到達目標

1. コミュニケーションの意義を理解し，目的が言える。(D-1)
2. 看護・医療におけるコミュニケーションの重要性を述べるができる。(D-2)
3. コミュニケーションの構成要因を述べるができる。(D-2)
4. ミスコミュニケーションが生じる理由を述べるができる。(D-2)
5. プロセスレコードの目的を理解し，作成することができる。(D-2)
6. 関係構築の必要性を理解し，基本的態度の具体的な例を述べるができる。(D-2)
7. 「傾聴の技術」の要点を述べるができる。(D-2)
8. コミュニケーションに障害がある人への対応の注意点を述べるができる。(D-2)
9. オンラインでのコミュニケーションを実施する上でのポイントを述べるができる。(D-2)
10. 効果的なカンファレンスを実施するための自己の課題を述べるができる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義で基本的な知識を学んだ後，学生2～4人でグループ編成し，コミュニケーションの体験学習を行い，振り返りをする。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，事前学習型授業，体験学習，グループワーク，ロールプレイ，リフレクション，レポートを用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示，メールによる質問等の受付，web配信「ナースチャンネル」の活用等講義に加え，グループワークなどを取り入れ，体験的・主体的な学習を推進する。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	コミュニケーションの意義と目的 ①コミュニケーションとは	講義 演習	予習：テキスト第1章Aを読み，専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：授業内容を振り返りまとめる。	伊藤美鈴

2	コミュニケーションの意義と目的 ②看護・医療におけるコミュニケーション	講義 演習	予習：テキスト第1章Aを読み，専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：「看護・医療におけるコミュニケーションの重要性」をまとめる。	伊藤
3	コミュニケーションの構成要素と成立過程 ①コミュニケーション手段 ②構成要素と成立過程	講義 演習	予習：テキスト第1章Bを読み，専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。テキスト25ページ表1-1でわからない用語を調べておく。 復習：ワークシートの不足部分をまとめる。	伊藤
4	コミュニケーションの構成要素と成立過程 ③ミスコミュニケーション	講義 演習	予習：日常会話で用いる敬語，尊敬語，謙譲語の違いについてまとめる。 復習：ワークシートに沿ってエクササイズを振り返り自分の傾向と課題をまとめる。	伊藤
5	コミュニケーションの構成要素と成立過程 ④看護専門職として備えるべきコミュニケーション能力向上のポイント	講義 演習	予習：テキスト第1章A・B・Cを読んでおく。 復習：看護専門職として備えるべきコミュニケーション能力の内容をまとめる。	伊藤
6	プロセスレコード プロセスレコード目的・意義と作成方法	講義 演習	予習：テキスト第1章Cを読み，プロセスレコードについて調べておく。 復習：ワークシート「プロセスレコード」の不足部分を完成させる。	伊藤
7	プロセスレコード プロセスレコード検討	演習	予習：プロセスレコード作成例の不足部分や解らない部分を考える。 復習：ワークシート「プロセスレコード」の不足部分を完成させる。	伊藤
8	関係構築のためのコミュニケーションの基本 ①接近的コミュニケーション ②基本的な態度	講義 演習	予習：テキスト第1章Cを読み，専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：授業を振り返り「接近的コミュニケーションの基本的態度」をまとめる。	伊藤
9	関係構築のためのコミュニケーションの基本 ③接近的行動と非接近的行動	講義 演習	予習：テキスト第1章C③を読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：演習内容を振り返りワークシートを完成させる。	伊藤
10	効果的なコミュニケーションの実践 ①傾聴の技術 ②情報収集の技術	講義 演習	予習：テキスト第1章Dを読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：「傾聴」「情報収集」の技術を振り返り内容をまとめる。	伊藤
11	効果的なコミュニケーションの実践 ③説明の技術 ④アサーティブネス	講義 演習	予習：テキスト第1章Dを読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：「説明の技術」「アサーティブネス」の内容をまとめる。	伊藤
12	コミュニケーション障害への対応 ①コミュニケーションに障害がある人の特徴 ②言語的コミュニケーションに必要な身体機能 ③コミュニケーション障害がある人への対応	講義	予習：テキスト第1章D,Eを読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：コミュニケーションに障害がある人の特徴と対応をまとめる。	伊藤

13	オンラインコミュニケーション ①オンラインコミュニケーションの機会の増加 ②オンラインコミュニケーションのポイント	講義 演習	予習：テキスト第1章 F を読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：「オンラインコミュニケーションのポイント」をまとめる。	伊藤
14	看護カンファレンス ①看護におけるカンファレンス ②カンファレンスの基本要素 ③カンファレンスの運営	講義 演習	予習：事前に配布された資料を読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。 復習：カンファレンスの評価表に沿って振り返り考察をワークシートに記入する。	伊藤
15	看護カンファレンス グループを変えながら、事前に配布されたテーマについてカンファレンスを行う。	演習	予習：事前に配布された資料を読んで専門用語及びわからない言葉の意味を調べておく。テーマについて自分の考えをまとめる。 復習：他者評価、自己評価、教員からのコメントを基にカンファレンスの振り返りを行い、自己の課題をワークシートに記入する。	伊藤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，課題レポート30%，により総合的に評価する。但し、どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。

定期試験の出題範囲は事前に口頭で提示する。

課題レポートは、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。提出物の詳細・締め切り・提出場所等は、講義内で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 茂野香おる他(2023)：系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術I，医学書院。

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画で指定された範囲について、予習および授業内容の復習を最低各45分行う。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。授業中の私語、授業中に授業に関する作業以外の行動および他授業中に本授業に関する作業を実施する等の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

1年次の「看護体験実習」，「地区踏査実習」の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。

定期試験の答案は返却しない。試験終了後、模範解答を掲示して周知する予定。各講義の提出物(ワークシート)の結果は、講義内でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行います。